

♪ 2017年度 **poco a poco** ♪

Nr. 16 2017年11月27日(月) 文責: プファイル・辰巳

パイプオルガン見学会

11月13日(月)に、中学部2年生のみなさんとパイプオルガンの見学に出かけました。普段はあまり間近で見ることができない演奏台の近くまで行ったり、オルガンの裏側の大きなパイプを見たりしながら、オルガンからどのようにして音を出すのか学びました。

コンサートホールで聴くのと異なる石造りの教会の中で聴くパイプオルガンの響きを味わえたことと思います。



全校 音楽鑑賞会

11月16日(木)の3・4時間目、ピアニストの江尻南美さんをお迎えして全校音楽鑑賞会を開催しました。

「トルコ行進曲」「エリーゼのために」「革命のエチュード」「愛の夢」など、みなさんにおなじみの曲が目白押しプログラムをご用意くださった江尻さん。表情豊かな演奏を約1時間に亘って披露してくださいました。

これからみなさんの感想文を、少しずつこの「ぽこあぽこ」に連載していきたいと思います。



2学期ミニコンサート 申し込み締め切り間近!

2学期ミニコンサートの申し込み締め切りは明後日、11月29日(水)です。出演を予定しているのに、まだ申し込みを済ませていない人、忘れずに申し込み用紙を出してください!

音楽鑑賞会・感想文より

<小学部1年生>

わたしは えじりさんがピアノをひいているとき、ゆびをみたら とてもはやくうごいていてびっくりしました。えじりさんは、いつもにこにこしていて、ピアノをひいているときでも にこにこしててすてきでした。えじりさんはピアノがじょうずで、ピアニストになれてすごいとおもいました。えじりさんといっしょに ピアノをれんしゅうしてみたいです。

手のスピードがはやくてびっくりしました。なんきょくもひいていたのに あんまりつかれてなさそうでびっくりしました。おんがくかいにいてよかったです。ぼくのしってるおんがくと しらないおんがくがありました。がんばってきけたよ。あんまりうるさくなくて、ぎゃくにみんなしずかでした。

ぜんぶとってもじょうずで かっこよかったです。うまれてはじめてこんなじょうずなのを きけたとおもいます。とってもじょうずなのは「トルコこうしんきょく」です。またきけるならききたいです。とってもとってもじょうずで、わたしもひいてくれたようにひきたいです。



えじりなみさんのピアノは、きれいなきょくが もっときれいにきこえました。はげしいきょくも はやくてすごかったです。ムソルグスキーの6きょくは、すごいきょくもあつたし かわいいきょくもあつたし きれいなきょくもありました。全プログラムがじょうずだったです。ぼくもピアニストになりたいです。

<2年生>

手がすごくすばやくて、一つもまちがえてなくてすごかったです。音が大きくなったり小さくなったりして、おもしろかったです。二つの手ですばやくひいていました。

<2年生 続き>

こまかいメロディがとてもすごかったです。音が大きくなったり、小さくなったりして、おもしろかったです。ドビュッシーの「月の光」がやさしい音できれいでした。モーツァルトの「トルコ行進曲」がすごかったです。なぜかという、スピードがとてもはたかったからです。

はやくひいていたのに、体をピアノに合わせて、リズムにのっていました。顔のひょうじょうも にこっとして、なんだか心があたたかくなりました。

とても大きいフォルテでびっくりしました。ゆびがとんでいってしまうほどはやくうごいていて すごいと思いました。かおのひょうじょうが かなしいきょくだとかなしくなっていて きれいなきょくだとにこにこでひいていて とてもしょうずに見えました。

<3年生>

とてもきれいなメロディでした。一つ一つの音がちゃんと聞こえて、すごいと思いました。こわいところ、楽しいところなどいろいろなところが、メロディでひょうげんされていて、すごいと思いました。れんだでひくところ、ゆっくりひくところが、すごくきれいに聞こえました。

とてもすてきな音でうっとりしました。また、ゆびの動きがはやくて、びっくりしました。それにいろいろな曲をひき終わった後、とても楽しそうでした。ひいている時も、とても楽しそうでした。わたしもピアノを上手にえんそうしてみたいです。

ベートーベンの「エリーゼのために」という曲は、さいしょの方は知っていたけれど、おわりの方はしらなかったの、いいきかいになったなと思いました。「かくめい」などはげしい曲や「あいのゆめ」などのやさしいふんいきの曲など、いろいろな曲が聴けました。「かくめい」はポーランドがロシアにとられそうになったときに作った曲だそうです。曲にはきっかけがあるんだなと思いました。

えじりさんのえんそうは、作曲家の気もちも考えてピアノをひいていたと思いました。その気もちにあわせてひいているえじりさんを見て、ピアノをひいてみたくなりました。有名な作曲家のえんそうだったし、指もはやく動かしていたので、すごく練習をしたということが分かりました。わたしはえじりさんがかっこいいと思いました。



<4年生>

ぼくの心にすごく残ったのは、ショパンの革命です。最初から思いが強くておどろきました。リズムもいいし、こんな音楽を作れるのもすごいと思いました。でも、この音楽をひいている江尻南美さんもすごいと思いました。理由は、あのリズムについていけるのもすごいと思うからです。

私の大好きな曲がいっぱいあり、とてもうれしかったです。とても大好きだった曲は、F.ショパンの「革命」です。私はにぎやかでスピードの速い曲が好きなので、この曲にしました。さらに私はショパンが好きなので、ショパン作曲のシリーズが好きです。ユーチューブなどでいっぱい聞きたくなりました。今日はとっても「祭幸」な日でした。

えんそうをきいていて、一つ一つにたくさんの気持ちがありました。やさしい曲はゆっくりで、元気な曲はちょっとはやめでした。一人一人の作曲家が自分のこせいを出して作曲した曲は、いろいろな曲がありました。

ある曲ではすごいスピードでひき、きゅうにゆっくりひいたりして、びっくりしました。ほかの曲では強い音でひいたり、小さい音にきりかえたりもできていました。どうやったらそんな切りかえができるのだろうと思いました。

5年生以上の感想文は、次号の「ぼこあぼこ」に掲載したいと思います。すてきな感想文を書いてくださって、ありがとう！